

長島ダム通信 「月イチ長島ダム」 Vol.3



訪問した日は生憎の雨でしたが、雨に洗われたダム周辺の木々はとても鮮やかな緑色で雨も素敵だと思います。

今回は長島ダム直下に広がる四季彩公園のお話です。

5月中旬、長島ダム管理所さんが SNS (X にポスト) に投稿された「宿り木」
長島ダム訪問時に見てこようと決めていました。

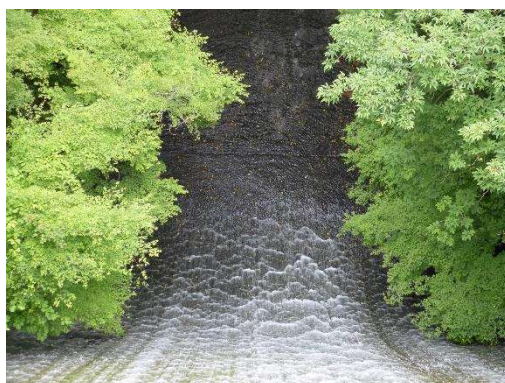


長島ダム完成により、水没してしまうため公園内に移植された桂の木だそうです。
移植された所から約3km 上流に植生していた古木で「けやき」「しきみ」「えご」「りょうぶ」「山つつじ」「ふじ」「ていかかずら」など7種類の植物と共生している生命力の強い木だそうです。長島ダムに訪問された際には、是非探してみてください。



静岡も梅雨入りしましたが、6月中旬から大井川流域で「ゆるキャン」とのコラボイベントが開催されるとの事。長島ダムの飛沫橋や接岨大橋等の吊り橋巡りのイベントで多くの方が大井川流域を巡り、賑わってくれると嬉しいです。
次回、ご報告できれば…と思います。

長島ダム訪問の翌日、愛知県瀬戸市の「馬ヶ城浄水場一般開放」が開催され今年も参加してきました。（水道週間に開催されるイベントです。）
日本ダムコーヒー協会から「馬ヶ城ダムコーヒー」の認定証が授与されており、あらためて馬ヶ城ダムと浄水場で作られる水を見ようと出掛けました。
昭和8年12月から瀬戸市の中心街に水道の給水が開始され、約90年間休むことなく水道水を作り続けています。国内では数少ない、細かい砂の層をゆっくり通す緩速濾過方式で水道水を作っています。
時間をかけて作られた水は無味無臭でまろやかな口当たりです。
馬ヶ城の水でコーヒーを淹れたら…と想像するとワクワクします。



職員様達の努力のおかげで今年も綺麗な越流を見せて頂く事ができました。



完成直後の堰堤



当時のままの水源地事務所